

初めての海外研修となるマルメ大学研修。

私にとってこれから歯科医療に携わる上でとても意義のある 5 日間となりました。

それは知識はもちろんのこと、誰のための、何のための歯科医療なのかという哲学や精神に触れ、再確認できたからです。

スウェーデンで働くデンタルハイジニストの姿はとてもいきいきとして輝いて見えました。リスクアセスメントをし、データをもとに個々の口腔健康を守る唯一の専門職として社会的認識度も高い。ひとりひとりが信念をもって自身に満ち溢れた姿は、私が衛生士としてこうありたいと思う目標になりました。

また講義で学んだ PBL 法は、口腔衛生指導においてもとても重要だと感じました。患者さんが主体となって疾患を予防をしていくためには常に私たちは〇〇して下さいではなく患者さん自身が考え、方法を導き出せるようにサポートする立場にあるということが患者さんの利益につながり、本当に望むことであると思いました。

研修で学んだすべてを消化するにはたくさんの時間が必要ですし難しいと思いますが、スウェーデンの地で学んだ知識や哲学を将来の糧として今後の歯科衛生士としての役割を果たしていきたいです。

ダン・エリクソン先生をはじめすべての先生方、素晴らしい時間を提供してくださった熊谷先生、日吉歯科の先生方に心より感謝申し上げます。